

# 入鹿小だより

熊野市立入鹿小学校  
校長 樋口 佳洋  
平成 29 年 6 月 12 日  
第 6 号

## 楽しかった宿泊体験学習！

5月25日～26日、5・6年生の児童11人が熊野少年自然の家へ宿泊体験学習に行ってきました。入鹿小学校では、5・6年生が宿泊体験学習と修学旅行に隔年で行っており、昨年修学旅行に行ったので、今年は宿泊体験学習の年です。

自然の家に到着し、入所式を済ませた後、さっそく活動の始まりです。しかしこの日は残念ながら朝から雨模様。屋外での活動も予定していましたが、室内での活動に変更です。最初の種目は「ユニカール」。高学年ともなるとさすがに手慣れたもので、子どもたちは上手にストーンを滑らせて、センターサークル付近に止めていきます。楽しいひと時を過ごすうちに午前中はあっという間に過ぎていきました。



午後は「キンボール」と「ピロポロ」の2種目。「キンボール」は「オムニキン」を叫んでからはじめるのですが、その言葉がなかなかうまく言えないことがあり、そのたびに笑いに包まれていました。また、「ピロポロ」は真剣にするとかなりハードで、子どもたちはいっぱい汗をかきながら体育館中を走り回っていました。



朝からいっぱい運動した後は夕食の準備です。自分たちでカレーライスを作りました。ご飯も飯盒で炊きます。火

起こし係、野菜係、お米係などに分かれ自分の係の仕事をしっかりとこなし、みんなで協力しながら夕食を作りました。ご飯は少し焦げができた飯盒もありましたが、それがまたおいしい。好んで焦げがあるご飯を食べている子もいました。みんなで作り、外で食べる食事は最高においしかったはずで



あたりがとつぷり暮れると1日目最後のメニュー「天体観測」です。しかし、雨こそ止んでいたものの曇りで星は見えなかったもので、スライドを使って星の話をしていただきました。先生からの質問にもしっかりと答えながら、普段見上げている星なのに知らないことをいっぱい聞かせていただきました。

2日目は前日の雨も上がり、屋外種目「関所ハイキング」を実施しました。自然の家の裏山の山頂まで登り、途中設置された問題に答えながら約2時間のハイキングを楽しみました。山頂から自然の家に向かって叫ぶ「ヤッホー」の声。ちゃんと聞こえていましたよ。

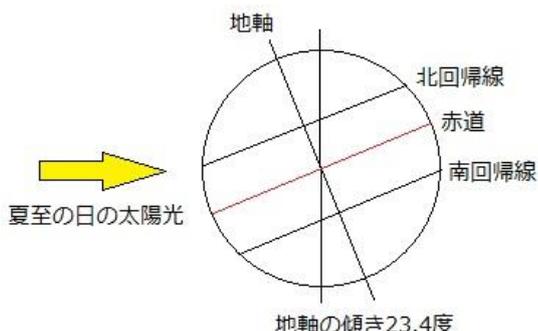
こうしてみんなと過ごした2日間。11人のみんながまた一つ楽しい思い出のページを増やすことができました。

# マナウスよもやま話 ③

## 正解発表！

前回の問題の解答を発表します。「右の写真で日本ではありえないことが起こっています。それは何でしょう」という問題でした。正解は、晴れているのにほぼ「影がない」です。

写真の足元を見ると、少しだけ影ができていますが、わずかそれだけの影しかありません。これでは「影踏み鬼」ができませんね。では、どうしてこのようなことが起こるのでしょうか。それは太陽が頭の真上に来る日が年に2回あるからです。この写真を撮影した日はまさにその日だった



のです。日本では、夏至の日に一番高い位置に太陽が来ます。太陽が空を一番大回りするから、昼間の時間が一番長い日として知られていますね。その日に北半球では北回帰線上の場所では太陽が頭上を通ります。ちなみに北回帰線は北緯23、4度、身近な場所としては台湾の南部を通過しています。

その反対が冬至（日本の）で、南回帰線上の場所で同じことが起こります。なので、北回帰線と南回帰線の間では年に2回、太陽が頭の真上を通る日があります。上図では左から太陽が当たっている時が日本の夏、右から太陽が当たっている時が日本の冬（南半球の夏）を示しています。残念ながら日本は北回帰線より北側にありますから、夏至の日でも太陽が頭上を通ることはありません。

ちょうど部屋の蛍光灯を頭の真上に来るように立てば、同じことを再現できますので、一度試していただければいかがでしょうか。

### 【お詫び】

前回のマナウスよもやま話②の中で、三日月の見え方の話をしましたが、印刷の関係で図が不鮮明で、わからないものになってしまいました。ここにあらためて図を掲載します。申し訳ございませんでした。（赤道付近では月は下から三日月が太くなり、やがて、半月、満月へとおおきくなっていきます。）

